



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和5年11月30日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

H P : shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



♡♡♡♡♡ あったか行動、あったか言葉を ♡♡♡♡♡

日に日に寒さが厳しくなる季節となりました。この11月は特に一日の気温差が大きく、朝には厚めの上着を着て、背中を少し丸めながら歩いてくる子どもたちが、昼には薄手のシャツ1枚で遊んでいるという光景を見ることも少なくありませんでした。また、今年はカメムシが大量発生し、教室や廊下にもたくさん。子どもたちが見つけては、そおっと逃がしています。「小さな虫にも命があるのだから。」と子どもたちの言葉にはっとさせられました。

11月7日から人権旬間の取り組みをしています。いじめ防止対策強化月間の取り組みと合わせて、一人一人の子どもたちと担任が面談をしたり、人権学習や各学級の人権宣言の発表をしたりして、人権について考え、自分も周りの人も大切にしようとして取り組んでいます。

11月14日の人権全校集会では、児童会本部から「あったか行動やあったか言葉を増やして素敵な学校をつくろう」と劇の発表がありました。

「みんな、おはよう。」・・・シーン・・・

「〇〇さん、鉛筆が落ちたよ。(拾って渡す)」・・・シーン・・・

「よし、あと少しでゴールだ。」・・・持久走でまだ走っている子がいるのに、「疲れたね。今日遊べる？」と知らん顔。

はせやまんの「ちょっと！みんな、あったか行動、あったか言葉が足りないよ。」で気付く子どもたち。そこで時間を巻き戻して・・・

「みんな、おはよう。」 「おはよう。」

「〇〇さん、鉛筆が落ちたよ。」 「〇〇さん、ありがとう。」

「よし、あと少しでゴールだ。」 「〇〇さん、がんばれー。」 「もうちょっとでゴールだよ。」

今、子どもたちはそれぞれの学級で、あったか行動やあったか言葉を増やそうと取り組んでいます。一人一人が意識して行動に移すことで、自分も相手も温かい気持ちになります。そうやって、一人一人が大切にされ、それぞれが居場所を感じる学級、学校にしていきたいと思います。



11月には、幼稚園やこども園の年長さんと1年生の「秋のおもちゃまつり」、1・2年生の「はせやま秋まつり」、なかよし班の「手作り遊び」など、異学年での活動がたくさんありました。そこでも「ありがとう。」「できたね。」「これ、いいね。」などのあったか言葉とともにあったか行動をたくさん見ることができました。心が温かくなります。

相手のことを大切にし、思いやる行動ができるには、まず、自分自身を大切に思う自尊感情を育てていくことが大事です。一人一人が素敵な存在です。大切に育てていきます。保護者の皆様、地域の皆様にも、変わらず子どもたちを温かく包み込んでいただきますようお願いします。

2学期もあと1か月足らず。それぞれの学級では2学期のまとめに入っています。2学期の学びを振り返る大切な時期です。一方、気温が下がり、体調を崩しがちな時期でもあります。生活リズムを整え、子どもたちが健康でいられますようお願いします。

校長 小森昌子